



# 鋼管杭 × システム仮設工法 ( 勘トリー®工法、 即結管べえ® )

仮設 道路・鉄道 強く・安全 早く・経済的 使いやすく・確実

高い強度・変形性能を有する「鋼管杭」によりプレファブ化した門型状の下部工の先端に取り付ける仮設用の機械式継手「即結管べえ」を用い、支持杭の施工誤差を吸収しながら一括架設する「勘トリー工法」により、安全性向上・工期短縮に貢献できます。



鋼管杭



即結管べえ®

システム仮設工法(勘トリー®工法、即結管べえ®)  
(NETIS登録番号 KK-220022-A、特許第6737740号 他)

※勘トリー®工法、即結管べえ®は、日本製鉄株式会社とヒロセ株式会社の共同開発商品です。

## 鋼管杭 × システム仮設工法のメリット

- **安全性向上・工期短縮**：基礎杭の打設と並行して地組みする下部工の一括架設により、高所作業の低減、工期短縮が可能です。
- **支持杭の施工誤差を吸収**：機械式継手のクリアランスにより、支持杭の水平誤差を吸収できます。
- **鋼材量の削減**：長スパン化によりプレス材・水平継材・杭本数の低減が可能です。

### 仮設構台への適用例

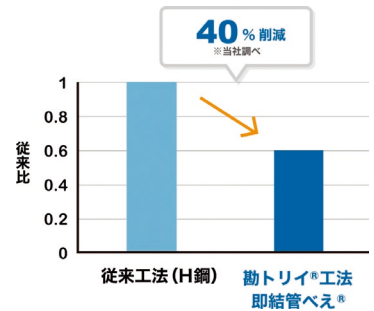
従来工法

勘トリー®工法、即結管べえ®

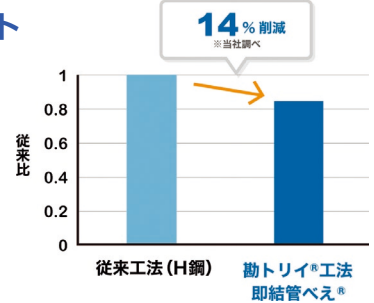


長スパン化により  
杭、プレース等を  
省略可能

### 工期



### コスト



※山岳部工事用仮橋(幅員6m、橋長96m、覆工面積576m<sup>2</sup>、橋脚高さ12m)での試算例  
上記の試算はあくまで一例であり、条件等によって適用効果は異なる場合があります。

〈ご注意とお願い〉 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

## 日本製鉄株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号  
Tel: 03-6867-4111 Fax: 03-6867-5607  
www.nipponsteel.com

鋼管杭 × システム仮設工法(勘トリー®工法、即結管べえ®) ProStruct® 土木分野  
K302\_02\_202312f

© 2023 NIPPON STEEL CORPORATION 無断複製転載禁止